

## 『朝日大学教職課程センター研究報告』投稿規程

I. 『朝日大学教職課程センター研究報告』（以下、本誌）が受け付ける原稿の種別、およびその枚数は、下記の通りとする。ただし、編集委員会が特に指定したものについてはこの限りではない。

1. 原稿の種別

- (1) 研究論文 20 枚程度
- (2) 研究ノート 15 枚程度
- (3) 実践報告 15 枚程度
- (4) 調査報告 15 枚程度
- (5) その他、編集委員会が認めるもの

2. 原稿の様式は、原則として A4 版 2 段組（1 段 19 字×36 行）、上余白 35mm、下余白 30mm、左右余白各 30mm とする。上記の枚数には、本文のほか、主題、註記、図表等を含むものとする。

II. 本誌に投稿できる者は、朝日大学教職課程センター専任教員、および編集委員会が認めた者とする。

III. 投稿原稿については、下記の通りとする。

- 1. 投稿原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表やその配布資料、発表要旨集等はこの限りではない。
- 2. 他の学会誌、研究紀要などへの投稿原稿と著しく重複する内容の原稿を本誌に併行して投稿することは認めない。
- 3. 投稿原稿の種別については、下記の通りとする。
  - (1) 研究論文とは、特定の分野に関する研究動向や事実状況等を踏まえ、当該分野における自らの位置や特色を明確にしたうえで、新たな知見や視角、研究上の意義等を実証的に論じたものを指す。
  - (2) 研究ノートとは、上記研究論文に準ずるもので、特定の分野に関して、①研究動向や事実状況等を展望し、研究上の提言を行なったもの、②史資料の紹介に重点を置きつつ考察を加えたもの、③その他の萌芽的研究について論じたもののいずれかを指す。
  - (3) 実践報告とは、特定の分野に関する教育研究活動や社会貢献活動の経緯や内容について報告したものを指す。
  - (4) 調査報告とは、特定の分野に関する事実や実態の解明を目的として行なわれた調査活動の結果について報告したものを指す。

IV. 投稿原稿の冒頭には、①主題（必要に応じて副題）、②著者氏名、③400 字程度の要約、④日本語のキーワード 5 語程度をそれぞれ記入すること。

- V. 投稿原稿には、頁番号を付すこと。
- VI. 投稿原稿は、編集委員会における閲読と合議を経て掲載の可否を決定する。編集委員会は、投稿者に対して掲載の条件を提示し、改稿を求めることができる。
- VII. 本誌に掲載された原稿の編集著作権は、朝日大学教職課程センターが有する。著作権は著者が有する。また、掲載された原稿は、朝日大学教職課程センターが認めた情報提供サービス（朝日大学機関リポジトリ）により公開できるものとする。
- VIII. 投稿の締切は、編集委員会の審議と承認を経て、教職課程センター教員会議において周知する。

2018年4月

朝日大学教職課程センター  
編集委員会